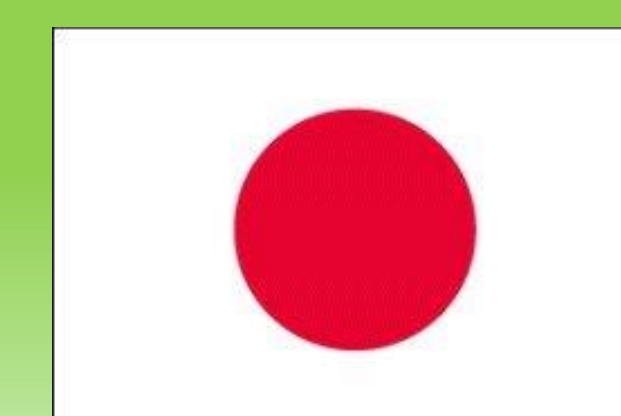




ヴィリニウス大学・静岡大学研究交流会 ミゼイクス研究室・小野篤史研究室

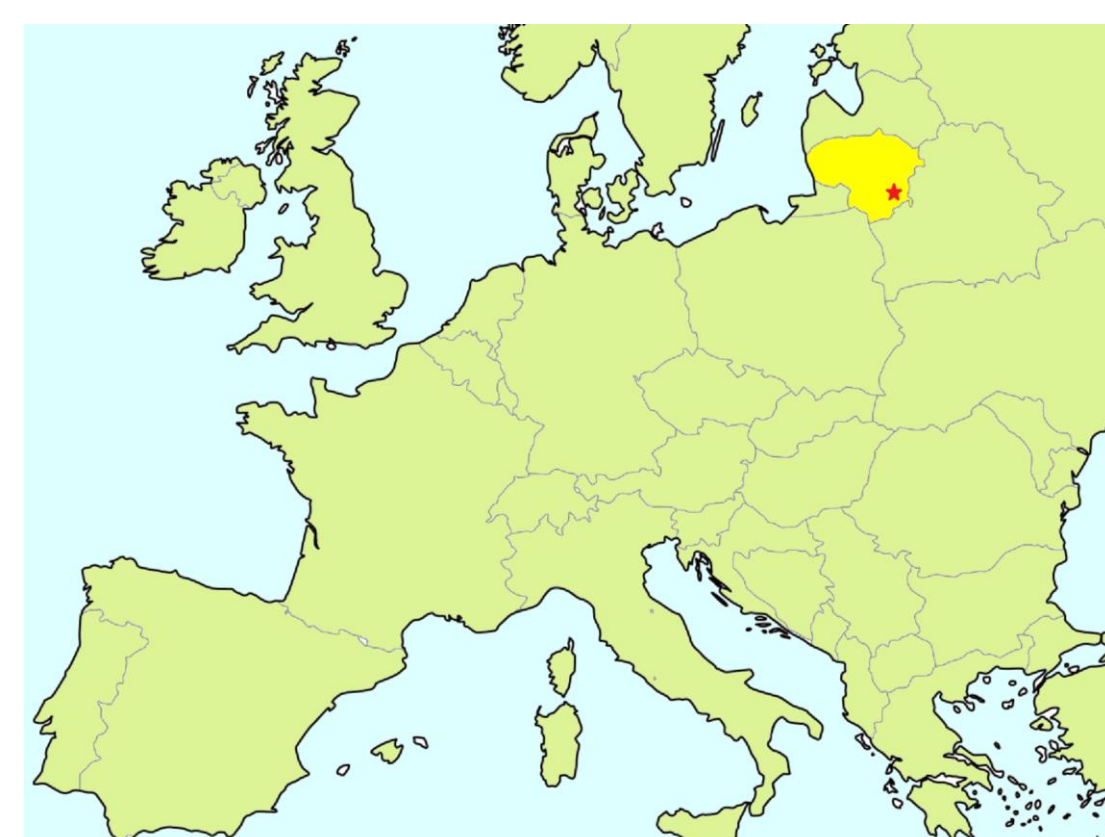


目的・概要

目的

- 海外の研究室と研究内容を議論することにより、プレゼンテーション及び英語コミュニケーション能力を向上させる。
- 海外での生活を通して、互いの文化や価値観の違いなどへの理解を深める。

リトアニア共和国
首都: ヴィリニウス
独立: 1990年
人口: 287.2万人
面積: 65200 km²



研究室交流

Valdas Sirutkaitis 研究室

Sirutkaitis先生の研究室ではレーザーを用いた新しい微細加工技術やそれを応用して作製した光学デバイスの研究・開発を行っています。



研究所見学

研究内容の紹介や実験の見学をしました。レーザーの数と種類が豊富で、設備がとても充実していました。

食事会

研究発表の後は近くのレストランでランチタイム。研究の話だけではなく、趣味の話でも盛り上がりました。

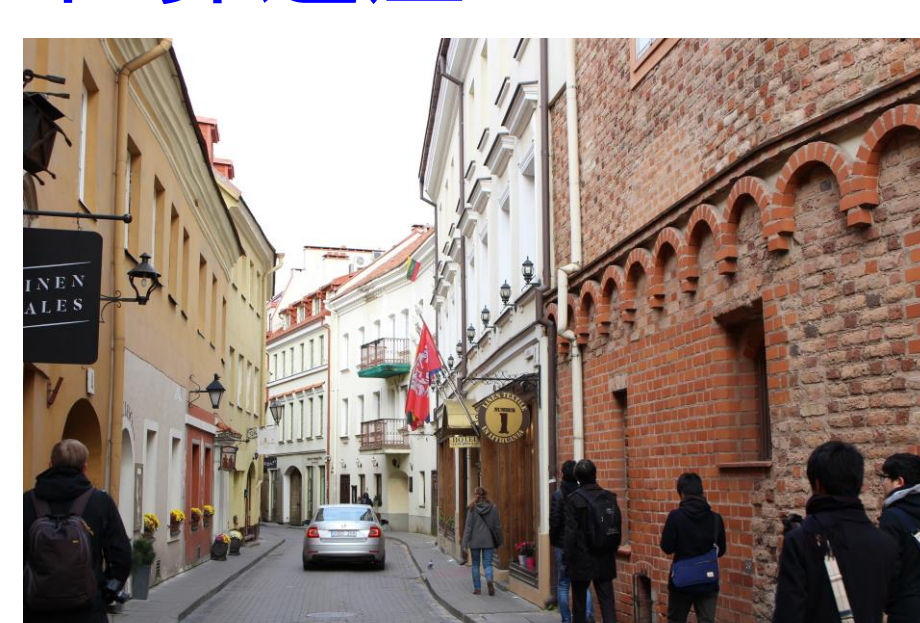


トラカイ城見学

休日は研究室の学生に隣町にあるトラカイ城を案内してもらいました。おいしい食事や観光地の見どころについて親切に教えてくれました。

リトアニアの文化

世界遺産



中世ヨーロッパの美しさが今も残る旧市街。街全体が世界遺産として登録されています。

レーザー産業



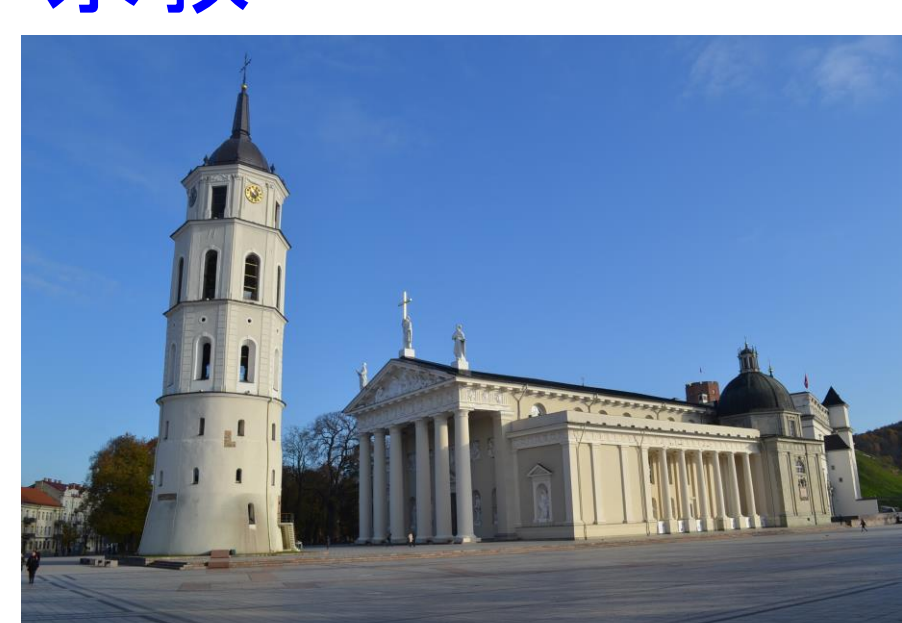
国民の千人に一人がレーザー産業に関わるレーザー大国。レーザーを学ぶ学生も増えています。

食生活



ジャガイモ料理の定番ツェペリネ。寒い地方のため、お酒で体を温める習慣があるそうです。

宗教



街の至る所にそびえる大きなカトリック教会。日本との文化の違いを最も実感したものの一つです。

観光



首都から電車で1時間ほどのトラカイ城。この城はなんと湖に浮かぶ島の上に建てられています。

特産品



日本では珍しいアンバー(琥珀)の名産地です。街の中心地には様々な露店が立ち並んでいます。

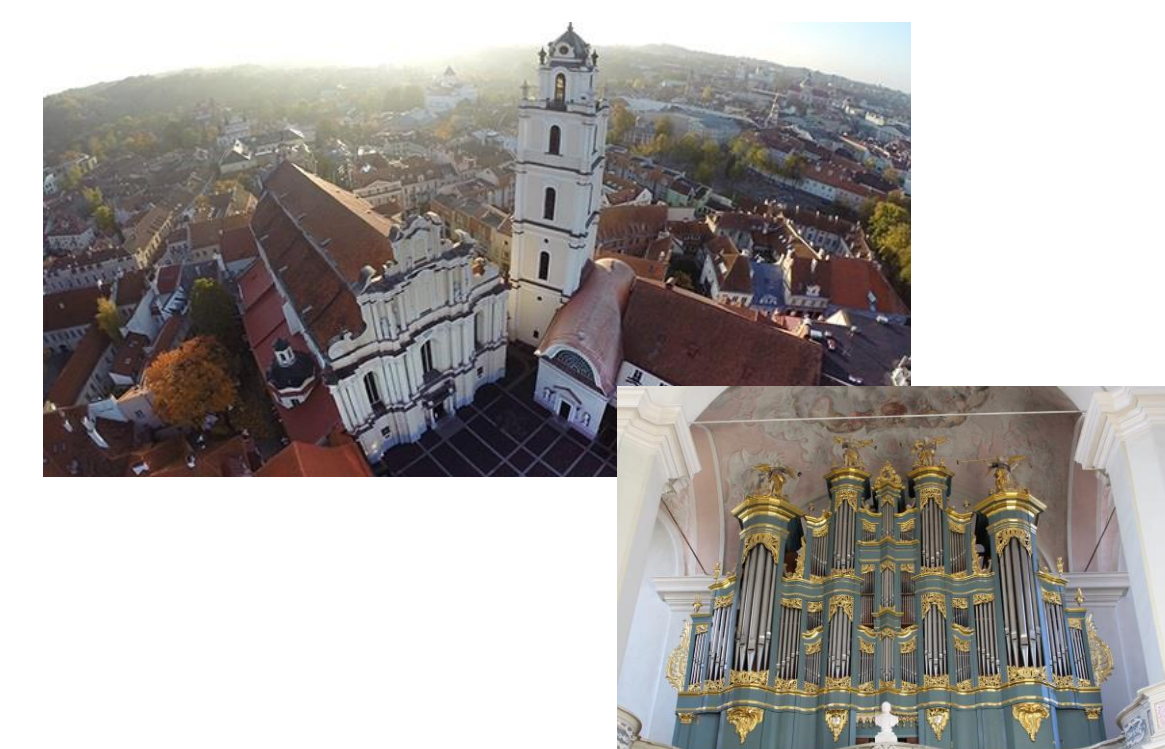
総括

- 研究内容に関する議論や日常会話を通じて、英語能力の重要性を再認識し、以前より積極的なコミュニケーションをとることができるようになりました。
- 日本人と異なる文化・価値観を持つ人たちとの交流により、グローバルな視野で物事を考える能力を身に付けることができた。

訪問先

ヴィリニウス大学(リトアニア)
滞在日: 2017/10/23~2017/10/30

1579年設立。
在籍者数は約2万人。
首都ヴィリニウスの旧市街の中心に位置します。大学敷地内にある聖ヨハネ教会にはリトアニア最大のオルガンがあります。



Laser Research Center

レーザー産業が盛んなリトアニア。ヴィリニウス大学のレーザー研究の拠点です。



研究発表会

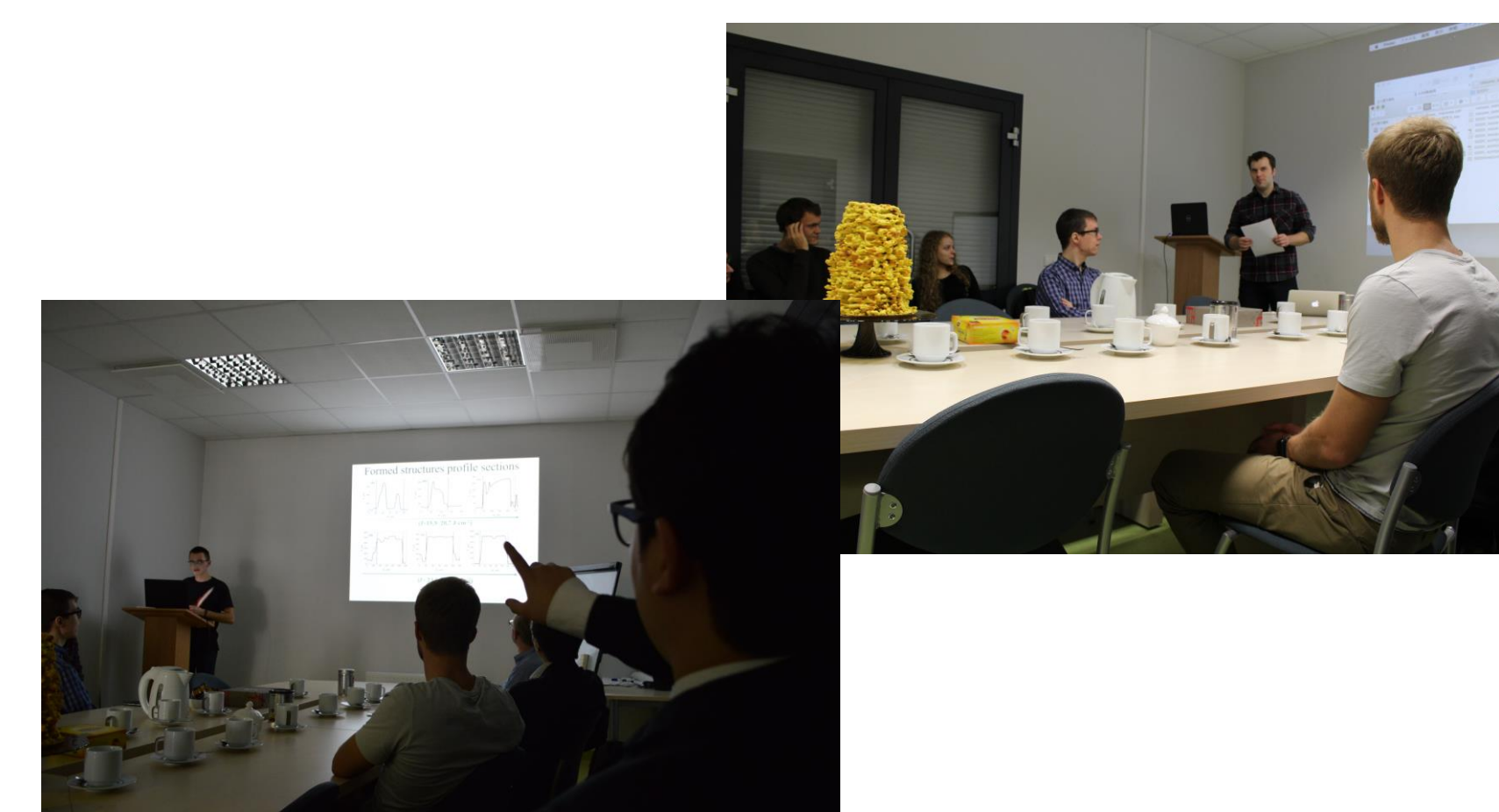
静岡大学

M2: 今泉啓太
M1: 井上雄希男
M1: 住吉真聡
M1: 本村亮祐
M1: 水野敬太



Vilnius University

M2: Tomas Baravykas
M1: Edvinas Skliautas
M1: Gedvinas Nemickas
M1: Indrė Indilaitė
M1: Mykolas Karpavičius



研究発表会ではお互いの研究内容に対して意見交換をしました。慣れない英語によるプレゼンテーション、質疑応答は苦勞する部分もありましたが、良い経験になりました。